

平成22年度決算概要



1. 全会計について

平成22年度の益子町の全会計の歳入総額は11,973,233,123円、歳出総額は11,642,971,297円で、歳入歳出差引額は330,261,826円となっており、平成21年度決算額と比較しますと、歳入は163,070,972円(1.4%)、歳出は185,070,103円(1.6%)とそれぞれ増額し、差引額では21,999,131円(△6.2%)の減額となっております。

単位:円、%

会計名		平成22年度決算額	平成21年度決算額	増減額	増減率
一般会計	歳入	7,452,433,734	7,303,567,105	148,866,629	2.0
	歳出	7,277,581,123	7,029,030,955	248,550,168	3.5
	差引額	174,852,611	274,536,150	△99,683,539	△36.3
国民健康保険特別会計	歳入	2,719,663,103	2,627,080,893	92,582,210	3.5
	歳出	2,591,634,416	2,581,893,146	9,741,270	0.4
	差引額	128,028,687	45,187,747	82,840,940	183.3
老人保健特別会計	歳入	5,913,338	33,654,980	△27,741,642	△82.4
	歳出	21,046	27,785,223	△27,764,177	△99.9
	差引額	5,892,292	5,869,757	22,535	0.4
後期高齢者医療特別会計	歳入	146,655,204	142,950,981	3,704,223	2.6
	歳出	145,408,256	142,326,361	3,081,895	2.2
	差引額	1,246,948	624,620	622,328	99.6
介護保険特別会計	歳入	1,231,959,852	1,126,439,699	105,520,153	9.4
	歳出	1,227,327,587	1,108,102,849	119,224,738	10.8
	差引額	4,632,265	18,336,850	△13,704,585	△74.7
公共下水道事業特別会計	歳入	315,426,772	450,342,014	△134,915,242	△30.0
	歳出	303,226,073	447,379,392	△144,153,319	△32.2
	差引額	12,200,699	2,962,622	9,238,077	311.8
農業集落排水事業特別会計	歳入	101,181,120	126,126,479	△24,945,359	△19.8
	歳出	97,772,796	121,383,268	△23,610,472	△19.5
	差引額	3,408,324	4,743,211	△1,334,887	△28.1
合計	歳入	11,973,233,123	11,810,162,151	163,070,972	1.4
	歳出	11,642,971,297	11,457,901,194	185,070,103	1.6
	差引額	330,261,826	352,260,957	△21,999,131	△6.2

*平成22年度決算書が、役場・中央公民館・改善センター・あぐり館に備え付けてありますのでご参照ください。

2. 一般会計決算概要

平成22年度の一般会計の歳入総額は7,452,434千円、歳出総額7,277,581千円で、歳入歳出差引額(形式収支)は174,853千円となりました。

形式収支から翌年度に繰り越すべき財源8,176千円を控除した実質収支は166,677千円の黒字となっており、このうち90,000千円を財政調整基金に積み立てし、残額は平成23年度への繰越金としております。

また、単年度収支については、前年度の実質収支額を下回ったことにより73,772千円の赤字となっており、実質単年度収支も、116,815千円の赤字となっております。

財政状態を示す財政指標のうち経常収支比率は86.5%と前年度から0.4ポイント悪化しました。これは、昨年度に比べ町税(個人町民税)の減少によるところが大きく影響しております。公債費比率については、11.6%で前年度から0.6ポイント好転しました。

平成22年度末の地方債の残高は、6,448,069千円で前年度末より173,893千円減少しました。しかしながら、この金額は歳入の0.87倍に相当し、依然高水準にあることに変わりはありません。これは地方交付税の代替措置である臨時財政対策債の発行によることが大きな要因であり、起債残高の44.6%を占めています。

一方、財政調整基金残高は、前年度から86,957千円増加し1,043,151千円となりました。これは歳出削減により、剰余金の積立、基金の取崩しが少額であったことによります。しかしながら、財政の健全化の維持及び計画されている事業の執行のためにもさらなる積立を図っていく必要があります。

歳入のうち自主財源は2,972,353千円、自主財源比率は39.8%となっており、前年度と比較しますと額で632,871千円の減、率では9.6ポイントの減となっております。また、依存財源は4,480,081千円で60.2%、前年度対比で781,738千円の増、率では9.6ポイントの増となっており、これは、繰越金の減少(前年度比329,576千円減)と地方交付税の増加(前年度比452,727千円増)によるものです。

歳出のうち消費的経費は6,527,520千円で、前年度対比131,847千円(2.1%)の増となりました。内訳としては、補助費等、公債費及び積立金等が減少し、人件費、扶助費及び繰出金等が増となっております。投資的経費は750,061千円で、前年度対比116,703千円(18.4%)の増となっており、これは、地域活性化対策に伴う臨時交付金によるものです。



平成22年度の主な事業

- 障害者扶助 326,290 千円
- 老人扶助 31,569 千円
- 民間保育所入所運営 429,780 千円
- 児童手当 429,580 千円
- こども医療費助成事業 56,926 千円
- 芳賀中部上水道団企業団補助金 39,996 千円
- 芳賀台地土地改良事業負担金 59,009 千円
- 道路改良・舗装・修繕工事 221,100 千円
- 消防施設整備 30,022 千円
- 幼稚園育成事業 30,700 千円



平成22年度一般会計歳入歳出決算

(単位:千円、%)

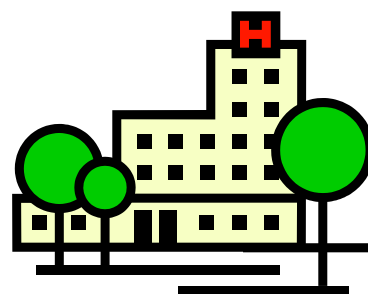
歳 入			歳 出		
区 分	金 額	構成比	区 分	金 額	構成比
○ 自主財源	2,972,353	39.8	○ 消費的経費	6,527,520	89.7
町 税	2,383,944	32.0	人 件 費	1,293,426	17.8
分担金及び負担金	114,404	1.5	物 件 費	628,111	8.6
使用料及び手数料	49,690	0.7	維持補修費	74,243	1.0
財産収入	9,418	0.1	扶助費	1,354,677	18.6
寄 附 金	3,126	0.0	補助費等	1,390,413	19.1
繰 入 金	148,816	2.0	公 債 費	854,539	11.7
繰 越 金	144,536	1.9	積 立 金	120,109	1.7
諸 収 入	118,419	1.6	投資・出資金及び貸付金	33,684	0.5
○ 依存財源	4,480,081	60.2	繰 出 金	778,318	10.7
地方譲与税	104,077	1.4	○ 投資的経費	750,061	10.3
利子割交付金	7,768	0.1	普通建設事業費	740,932	10.2
配当割交付金	3,527	0.1	災害復旧事業費	9,129	0.1
株式等譲渡所得割交付金	1,365	0.0	失業対策事業費	0	0.0
地方消費税交付金	208,019	2.8			
ゴルフ場利用税交付金	73,508	1.0			
自動車取得税交付金	30,851	0.4			
地方特例交付金	41,761	0.6			
地方交付税	1,967,425	26.4			
交通安全対策特別交付金	2,614	0.0			
国庫支出金	807,012	10.8			
県支出金	652,502	8.8			
町 債	579,652	7.8			
歳入合計	7,452,434	100.0	歳出合計	7,277,581	100.0



3. 国民健康保険特別会計決算概要

平成22年度の国民健康保険特別会計の歳入総額は2,719,663千円、歳出総額は2,591,634千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は128,029千円となりました。このうち65,000千円を財政調整基金に積立し、残額は平成23年度への繰越金としております。前年度と比較しますと歳入は92,582千円（3.5%）、歳出は9,741千円（0.4%）とそれぞれ増額となっております。これは、歳入で、国庫支出金が121,890千円、繰入金が62,417千円増加し、歳出において、保険給付費が58,909千円、介護納付金が6,153千円増加したことによるものです。

なお、保険税の収納率は64.7%で前年度から0.6ポイント減少しました。



4. 老人保健特別会計決算概要

平成22年度の老人保健特別会計の歳入総額は5,913千円、歳出総額は21千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は5,892千円となりました。前年度と比較しますと歳入は27,742千円（82.4%）、歳出は27,764千円（99.9%）とそれぞれ減少しております。

なお、老人保健特別会計は、平成22年度をもって廃止となり、剰余金は一般会計に引き継がれました。



5. 後期高齢者医療特別会計決算概要

平成22年度の後期高齢者医療特別会計の歳入総額は146,655千円、歳出総額は145,408千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は1,247千円となりました。歳入の主なものは、後期高齢者医療保険税100,550千円で歳入の68.6%、一般会計からの繰入金45,303千円で歳入の30.9%を占めています。歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金142,486千円で歳出の98.0%を占めています。

なお、保険料の収納率は99.9%となっています。

6. 介護保険特別会計

平成22年度の介護保険特別会計の歳入総額は1,231,960千円、歳出総額は1,227,328千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は4,632千円となりました。前年度と比較しますと歳入は105,520千円（9.4%）、歳出は119,225千円（10.8%）とそれぞれ増額となっております。これは、歳入で国庫支出金が40,182千円、繰入金が37,170千円増加し、歳出で保険給付費が126,125千円増加したことによるものです。

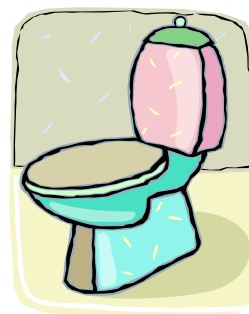
なお、保険料の収納率は98.8%で前年度から0.2ポイント減少しました。



7. 公共下水道事業特別会計

平成22年度の公共下水道事業特別会計の歳入総額は315,427千円、歳出総額は303,226千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は12,201千円となりました。前年度と比較しますと歳入は134,915千円（30.0%）、歳出は144,153千円（32.2%）とそれぞれ減額となっております。これは、公債費が減少（172,704千円）したことによります。

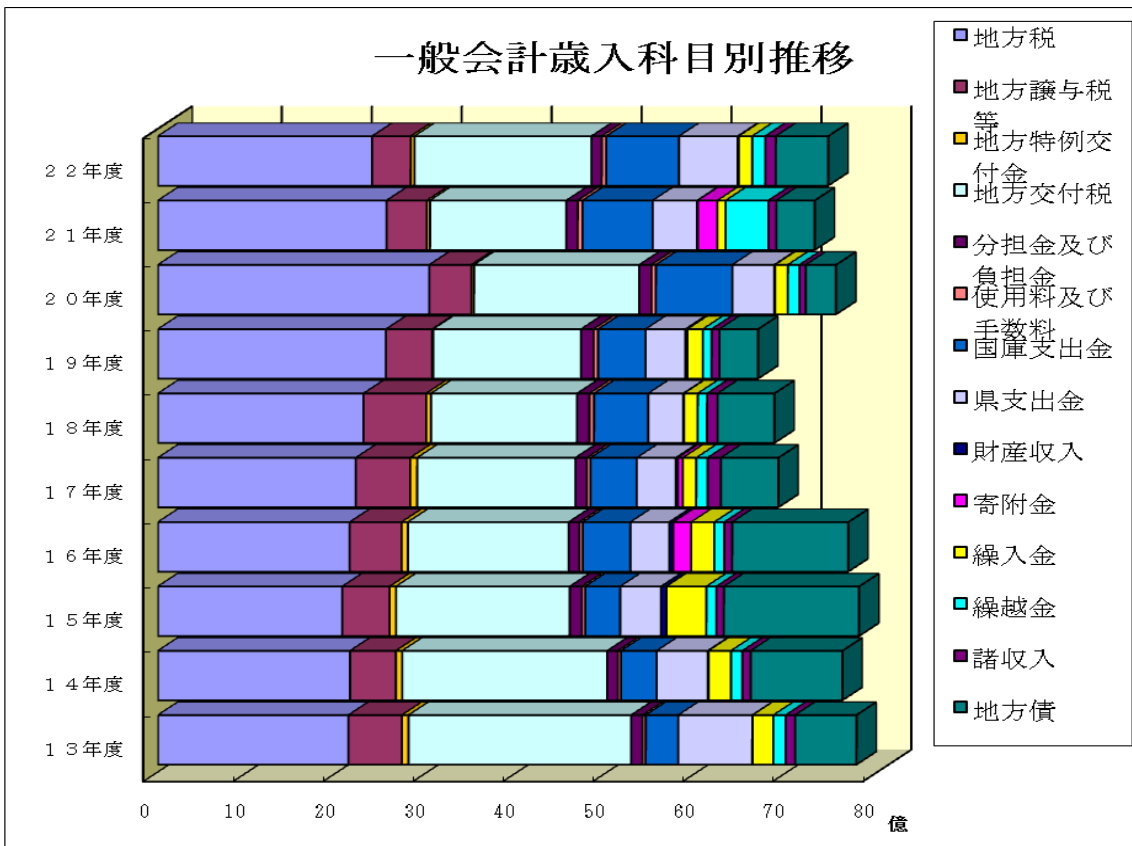
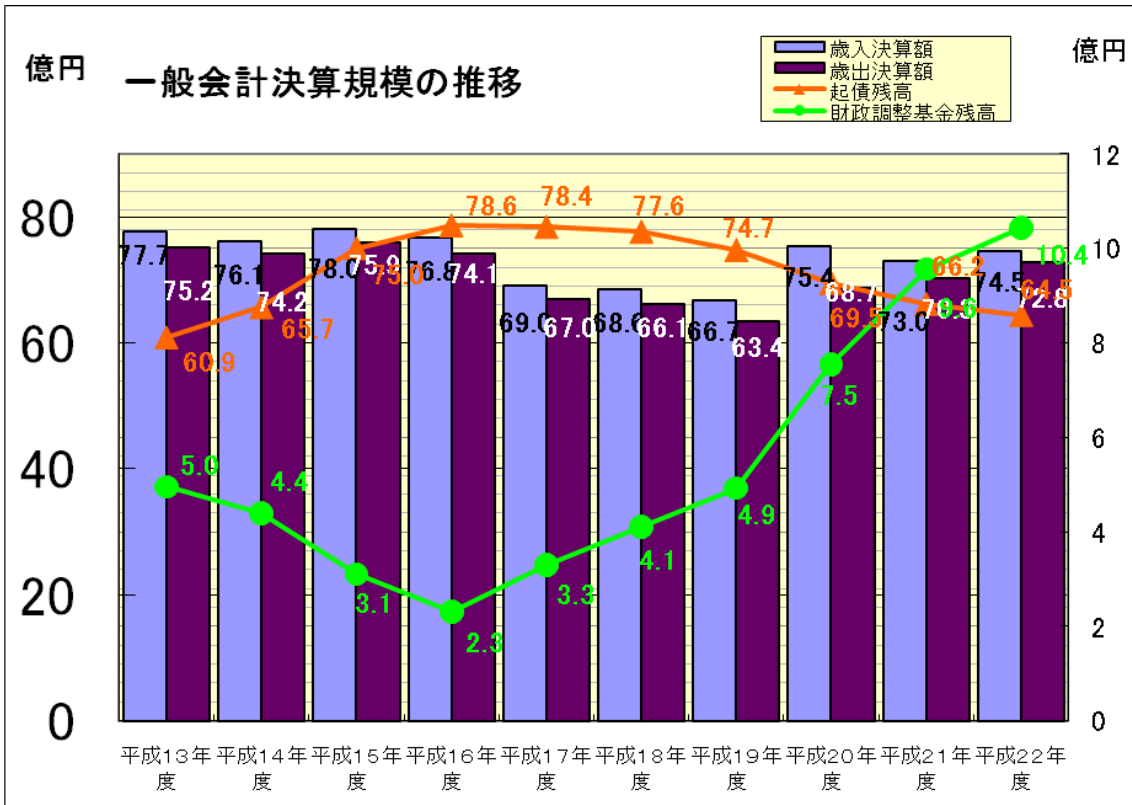
なお、水洗化率は76.1%でした。



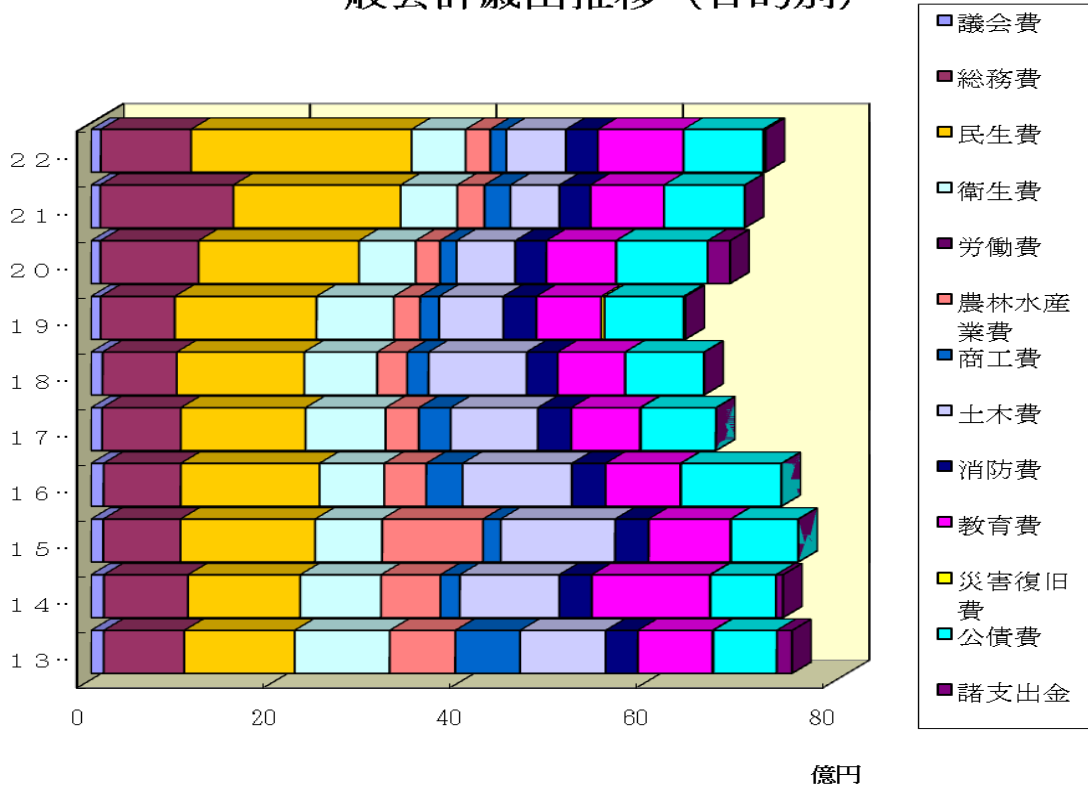
8. 農業集落排水事業特別会計

平成22年度の農業集落排水事業特別会計の歳入総額は101,181千円、歳出総額は97,773千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は3,408千円となりました。前年度と比較しますと歳入は24,945千円（19.8%）、歳出は23,610千円（19.5%）とそれぞれ減額となっております。これは、公債費が減少（22,113千円）したことによります。





一般会計歳出推移（目的別）



一般会計歳出推移（性質別）

